

誰もが安心して暮らし、 活躍できる鹿児島を

目指して

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御理解・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、本県では、これまでにない新型コロナウイルスの感染拡大に加え、不安定な海外情勢や急激な円安などによる原油価格・物価高騰に伴い、県民の皆様の暮らしや県内産業は大きな影響を受けました。また、9月に発生した台風第14号や集中豪雨による住家、公共施設等の被害や、相次ぐ高病原性鳥インフルエンザによる養鶏農家の被害なども多く発生しました。

一方、2月には、霧島神宮が国宝に、鹿児島神宮が国の重要文化財に指定されたほか、過去最多となる41道府県が参加し、30万人超の来場者でにぎわった10月の第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会では、本県代表牛が和牛日本一の栄冠に輝くなど、数々の明るい出来事もありました。

私自身、11月には、知事就任後初となる海外トップセールスをバリで行い、和牛日本一の鹿児島黒牛、生産量日本一のブリ・カンパチや鰹節、産出額日本一のかごしま茶、蔵元数・銘柄数日本一の本格焼酎など多彩で豊富な食材や、世界自然遺産の屋久島、奄美大島など多様で豊かな自然を有する本県の魅力を積極的にPRしました。

今年は、7月に高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典・全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」、10月に国内最大の国民スポーツの祭典・国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、並びに本県初の全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が開催されます。これらの機会に本県を訪れる皆様を心のこもったおもてなしでお迎えし、県民の皆様はもとより全国の皆様にとつても思い出に残る希望に満ちた素晴らしい大会となるよう、着実に準備を進めてまいります。この好機を生かし、本県の文化・スポーツの更なる振興を図るとともに、長引くコロナ禍で落ち込んだ本県の観光関連産業の回復を確かなものとしてまいりたいと考えております。

また、今年、奄美群島が日本に復帰して70周年の節目を迎えます。国や地元市町村の皆様と緊密に連携しながら、令和6年3月に期限を迎える奄美群島振興開発特別措置法の延長に取り組んでまいります。

今後の県勢発展の基盤をしっかりとつくっていくためには、本県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業の更なる振興や製造業の競争力の強化、新産業の創出に取り組む、本県の「稼ぐ力」の向上を図る必要があると考えております。

今後とも、「誰もが安心して暮らし、活躍できる鹿児島」を目指し、「県民の皆様と一緒に鹿児島は今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」県政の推進に全力を挙げて取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い一年でありますよう、祈念申し上げます。



令和五年 元旦

鹿児島県知事 塩田 康一